

KSP-POS オープンデータ マーケットトレンドレポート

■テーマ 2010年の調味料、調理品カテゴリーのトレンド

当社でご提供しているKSP-POSのデータで2010年12月までの年間データが確定しました。
今回のマーケットトレンドレポートでは、調味料・調理品カテゴリーの細分類別の年間トレンドをご紹介します。

□調味料・調理品カテゴリーの動向

下記は、2010年の調味料と調理品カテゴリーの、細分類別の販売金額、販売数量、平均価格の前年比をまとめたものです。

1. 平均売価が100以下で金額・数量共に100以下のカテゴリー

分類名称	金額 (前年比)	数量 (前年比)	平均価格 (前年比)
風味調味料	95.8	96.8	99.0
ソースミックス	95.7	96.7	98.7
インスタントカレー	94.2	97.4	96.6
醤油	93.6	94.4	99.2
味噌	93.2	96.7	96.3
マヨネーズ	91.8	94.7	97.0
食塩	91.6	93.2	98.0

3. 平均売価が100以上のカテゴリー

分類名称	金額 (前年比)	数量 (前年比)	平均価格 (前年比)
香辛料(からし・わさび以外)	125.0	115.9	107.9
合わせ酢(和風)	103.8	103.9	100.0
砂糖	100.4	98.3	101.9
つゆ	98.8	98.9	100.0
米飯加工品	98.7	98.7	100.0
ふりかけ	97.4	97.7	100.0
中華料理の素	97.4	97.7	100.0
食酢	96.2	95.7	100.5
お茶漬の素	91.7	90.9	101.2

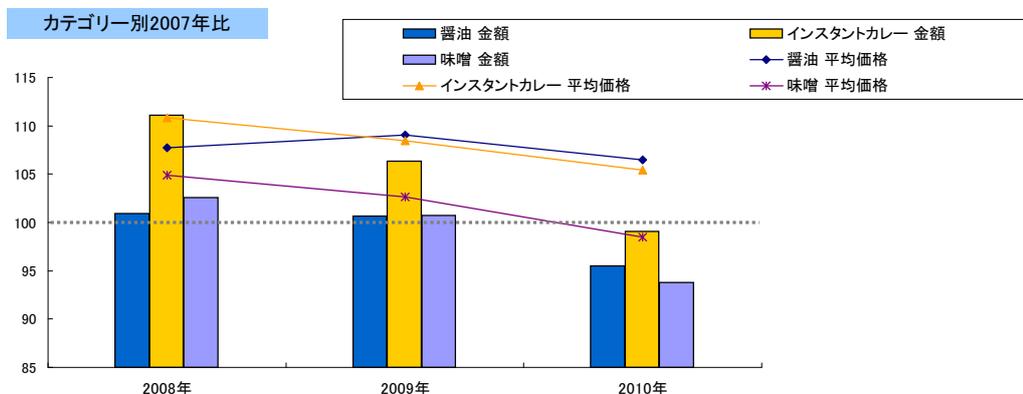
2. 平均売価が100以下で金額・数量がいずれか100以上のカテゴリー

分類名称	金額 (前年比)	数量 (前年比)	平均価格 (前年比)
ソース	100.8	102.1	98.9
調理済みカレー	100.1	101.1	98.4
ドレッシング	100.0	101.8	98.2
ケチャップ	99.9	102.3	98.1
焼き肉のたれ	98.7	100.6	97.8
からし・わさび	98.4	100.0	97.7

上記の表で、左が平均価格が前年比を下回ったもの、右が平均価格が上がったか前年と同程度だったカテゴリーです。
全体的には、金額前年比が100を下回っているカテゴリーが16カテゴリーと今回紹介したカテゴリーの7割以上を占めており、2010年は、全体的に非常に厳しい状況であった事が分かります。
中でも1の、味噌、醤油、風味調味料などの基礎調味料を中心して、平均価格が安くなったものの、販売数量も減少しており、厳しい状況になっているのが伺えます。
一方、2の中で、ケチャップやからし・わさび、焼肉のたれは、売価が下がったものの、数量は微増で推移し、金額は微減という結果になっています。
また、3の、香辛料(からし・わさび以外)カテゴリーが金額前年比125と伸びているのは、「食べるラー油」がヒットしたことによって大きく伸張しており、厳しい状況のカテゴリーが多い中、健闘しています。

□値上げのあったカテゴリーの動向

下記グラフは味噌、醤油、インスタントカレーのカテゴリーの金額と販売平均価格の2007年を100として比較したものです。
味噌、醤油、インスタントカレーは2008年に原材料の高騰による値上げがあり、08年は売価の上昇により金額は100を超えています。
2009年から徐々に平均売価が下がり、10年はそれ以上に平均売価が下がっているものの、金額ベースでは100を下回り、厳しい状況になっています。こうしたカテゴリーにおいては、平均売価を下げても、数量の伸張が見込めない現状である為、価格以外の部分での消費を刺激する事が、より重要になっていると思われます。



■ 分析概要

データ： 全国約740店舗の食品スーパーから収集したPOSデータ (KSP-POS)

期間： 2007年1月～2010年12月

地域： 全国

■ 当社サービスレポート内容に関するお問い合わせ
株式会社KSP-SP

〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-1 一光浜松町ビル4F

TEL: 03-5472-7650 FAX: 03-5472-7651

<http://www.ksp-sp.com>

ksp-info@ksp-sp.com